

一般演題【HBO装置関連】

当院の第1種高気圧酸素療法運用に対する取り組み

村上雅憲¹⁾ 三代英紀²⁾ 長野真唯²⁾ 玉岡大知²⁾
 黒田 聡²⁾ 宮田香菜子²⁾ 藤野唯依加²⁾
 石田朋行²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構専門医療センター 心臓血管外科
 2) 独立行政法人国立病院機構専門医療センター 医療機器管理室

当院は第1種高気圧酸素治療装置2基を運用している。2020年から高気圧酸素治療(Hyperbaric oxygen therapy: 以下HBO)の施行件数増加を目的に心臓血管外科医師を中心とした取り組みを開始したのでその効果について検討した。

【年度別推移】

年度別HBO施行件数は2018年度から2022年度の順に(684, 1058, 1550, 1967, 2268: 算定不可を除く)件, 患者数は(39, 63, 81, 123, 152)名と増加した。また疾患別患者数は腸閉塞(6, 11, 21, 40, 55)名, 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害(6, 12, 22, 27, 41)名, 重症軟部組織感染症(3, 1, 3, 15, 11)名, 脊髄神経疾患(1, 0, 4, 9, 11)名で増加したが, その他の疾患では大きな変化はなかった。

【取り組みとその内容】

取り組みとその内容, 効果を以下に示す。

1. 高気圧酸素治療のオーダーリングや合併症が生じた際の対応を主治医に代わって行った。数回のサポート後に各自で対応していただけるようになり院内症

例の増加につながった。

2. ホームページ上の高気圧酸素治療紹介ページへのアクセスをわかりやすく変更し, よくある質問などを追記した。院外から高気圧酸素治療目的の紹介患者が見られるようになった。
3. 多業種(医師, 臨床工学技士, 看護師, 事務など)で構成するHBO運用ミーティングを開催した。病名を適切にすることで算定不可症例を減少させることが出来た(不算定率は2019年度から2022年度の順に15.3%, 14.3%, 6.7%, 6.9%)。また運営上生じた問題点にも早期対応ができた。
4. 当院を含め高気圧酸素治療を行っている施設は県内に3病院しかない。そのため新任医師を対象に年度初めの医局会で当院に高気圧酸素治療装置があることをアナウンスし関心を持ってもらうようにした。
5. 毎月の実施件数レポートを作成し毎月の治療回数, 病名ごとの症例数, オーダー医師を把握した。
6. 毎日の実施スケジュール貼り出すことで日々の治療数を可視化した。症例数が少ない場合は個別に医師への声掛けを行うことで治療回数の大きな落ち込みがなくなった。

【課題と展望】

取り組みのうちHBO施行件数増加に明らかに効果があったのは5.6.であったが, 増加した診療科が外科, 整形外科, 心臓血管外科に偏っていた。治療回数が増えることでマンパワー不足となりHBOの実施に調整が必要となることがあった。臨床工学技士の増員を行い, 幅広い診療科からの治療依頼に対応し, さらなる施行件数増加を目指したい。

